

何度訪ねても色あせない光の楽園。心のふるさと、南仏の旅へ。

# フランスの旅

100.8

*À la découverte d'une France différente*

for tasty life  
エイムック1802

CHÂTEAUX  
HOTELS  
COLLECTION

特別付録

眺めて楽しい!  
フランス・イラスト  
MAP

フランスのイベントカレンダー付き

総力特集

何度行つても、

# 憧れの南仏。

プロヴァンス &

コート・ダジュール

特集★

ワインジャーナリスト

柳忠之さんご巡る

ブルゴーニュ・ワイン街道

特別企画★南仏から旅する異国。

モナコ、

そして北イタリアへ。

連載★パリ20区物語

まるでパリのおもちや箱 マレ探訪



1

1



2



3



4

1) 甘美な世界に誘っているかのようなメインエントランス。2)3) ベネチア出身のシェフとスリランカ出身のパティシエが奏でる、ミラノらしい国際色豊かな食の協奏曲。4) アーティストの名がつけられた各スイートは、そのアーティストのアトリエをイメージしているという。また、各部屋に飾られている絵画もミュージアムコレクションのひとつだ。なかには超一級品も。5) ホテルロビーの向かいにある建物がミュージアム施設となっている。テーマ別に集められた世界各国の絵画を宿泊者は自由に鑑賞できる。6) 敷地内地下にある1000㎡の講堂。地上からはとても想像のつかない空間が広がっていた。7) ホテルの裏手にある広大な庭園。ゆっくりと朝の散歩を楽しみたい



2



3

Hotel.09

## Hôtel Villa San Carlo Borromeo

オテル・ヴィラ・サン・カルロ・ボロメオ

ミラノの名門ビスコンティ家が建造し、同じくミラノの名門貴族であるボロメオ家が買い取り1970年代まで居住していたホテル。ミラノの中心から車で30分ほどの郊外に建つ。広大な庭を持つ、絵に描いたような館だ。ホテルとしてオープンする以前から大学のミュージアムとして利用されており、また、地下には1,000㎡ある会場も併設され、現在でもホテルを運営する大学の教育プログラムに利用されている。このように2003年にホテルがオープンするまで大学施設の一環として利用されていたため、ホテルというよりも歴

史ある美術館に宿泊するような趣。客室にも、シャガールのオリジナルの絵画が飾られているなど、アートな空間が広がっている。現在でもアート目当ての宿泊客が多いという。ただ、ホテルとしても5つ星であるように、その施設・サービスは一級品。門からエントランスまでの長いアプローチを辿って訪れる様は、まるで貴族の館に招待されたような気分になれる。館内のいたるところでイタリア貴族の暮らしを垣間見ることができ、イタリアの歴史とアートに囲まれたリキクスなステイを約束してくれる。

### Hotel Information

住所：Piazza Borromeo  
20 20030 Senago  
TEL：3902.99.47.41  
FAX：3902.99.47.42  
全61室(スイート10室)  
一般客室料金：€220～1500  
スイート客室料金：€650～1500  
朝食料金：€15  
レストランコース料金：€50～90  
アラカルト料金：€70  
ホテル休業日：なし  
レストラン休業日：なし  
アクセス：ミラノ/リナーテ空港より25km  
併設するホテルコレクション  
TEL：03-5413-7045

TRSD

